

5 学生生活関係

(1) 学生の表彰

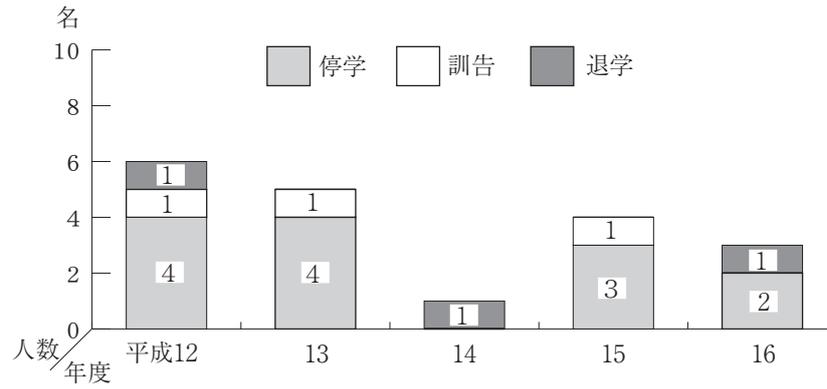
年 度	氏 名	該 当 事 項
平成5～9年度該当者なし		
平成10	桑 原 知 子	農学の研究分野において、優れた論文を発表し、高い評価を得るなど顕著な成果をあげた。
	藁 科 雅 岐	
平成11	前 田 桂 子	世界柔道選手権大会において、日本代表として出場し優勝したことにより、日本柔道の発展に貢献し、本学の名誉を著しく高めた。
	石 川 竜 也	世界選手権レベルのサッカー競技会において、日本代表選手として出場し、日本代表チームの牽引者として貢献し、本学の名誉を著しく高めた。
平成12～13年度該当者なし		
平成14	橋 本 充 司	教職にかける高い使命感と目的意識を持って勉学に励み、優秀な成績を収めた。また、現代教育に関する研究会「リベラル研究会」を組織するなど、本学学生の模範となる活動を行った。
	劉 璐 姍	学業成績が極めて優秀であり、傑出した卒業論文（優秀論文賞受賞）を提出した。また、「国際学生映画祭」等への出品などの課外活動並びに「日中国交正常化30周年記念日中友好市民の集い」等国際交流活動に貢献した。
	佐 藤 大 介	優秀な学業成績を収め卒業研究の「ペンによるメニュー選択に基づく日本語入力法」が、日本ソフトウェア科学会等で、成果を公表し好評を博した。
	新 田 佳 浩	障害者ノルディックスキー世界選手権大会（クラシカル10k）で、日本人初の金メダルを獲得するなど、日本障害者スキーの発展に寄与した。
	小 林 宏 之	ユニバーシアード大会サッカー競技日本代表として、優勝に貢献した。また、本学蹴球部キャプテンとしてインカレで優勝し、課外活動の発展に貢献した。
	長 弘 基	研究意欲が旺盛で、優秀な成績を収め、日本MRS学術シンポジウムで日本MRS奨励賞を受賞するなど、研究成果を発表した。
	韓 承 鎬	優秀な学業成果を収め、優れた研究論文の発表を行うとともに、特許出願の価値ある発明を行い評価された。
	山 本 剛	ピースボートでインターンシップを行ったのを始め、学生団体 JOB REVOLUTION、チェルノブイリ子供基金など、NPO活動を通じ社会的貢献をし、高い評価を受けた。
	高見澤 秀幸	学位論文の内容2編が数理ファイナンス及び計量ファイナンスの分野で定評のある2つの国際ジャーナルに受理されたほか、顕著な研究業績をあげた。
	小 林 功	微細貫通孔が高密に配置されたシリコンチップを開発するなど（特許取得）、研究成果を学術誌に発表し、化学工学会関東支部長賞（学生賞）他2つの賞を受賞した。
飯 田 真 一	一貫して森林水文学特に蒸発散量の測定評価について研究を行い、優秀な成績と顕著な研究成果をあげた。特に博士論文では、学会誌で高い評価を得た。	
平成15	山 内 綾 香	「サイエンス・キッズ」（つくば市を中心とした小・中学生の科学体験の会）のサポーター代表として会の実施を支え、社会活動として多大な貢献をした。
	大 嶋 達 男	「四国EV（電気自動車）ラリー」に出場し優勝するなど、課外活動の成果が顕著であり、本学への貢献が大である。
	鐘ヶ江 幸 治	東京箱根間往復大学駅伝競走に日本学連選抜チームとして出場し、区間賞・最優秀選手賞（初回金栗賞）を受賞し、本学の名誉を高めた。
	関 口 水 美	東日本医科学生総合体育大会で中長距離6連覇、つくばマラソンフルマラソン総合女子で優勝するなど、優秀な成績を収め、課外活動の活性化のために寄与し、本学の名誉を高めた。

年 度	氏 名	該 当 事 項
平成15	高 安 亮	ユニバーシアード大会水泳100メートルバタフライで第3位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	永 井 奉 子	ユニバーシアード大会水泳100メートル自由形で第3位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	藤 永 佳 子	ユニバーシアード大会陸上競技10,000m で第2位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	鈴 木 徹	パラリンピックシドニー大会陸上競技走り高跳びで第6位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	青 木 一 義	カナダ航空宇宙局が所有する航空機を用いた微小重力実験を行い、国際協力研究において優れた研究成果を産み出し、研究発表において優秀講演賞を受賞し、極めて高い評価を得た。
	邢 鴻 雁	先端材料に関するIUMRS-ICAM-2003国際会議において、研究発表が奨励賞を受賞し、高い評価を得た。
	久 森 美 和	環境フォーラム:衛生薬学・環境トキシコロジーにおいて、研究発表が実行委員長賞を受賞し、高い評価を得た。
	村 澤 裕 介	日本化学工学会バイオ部会において、研究発表がバイオ部会優秀ポスター賞を受賞し、高い評価を得た。
	見 村 夕 香	ラット網膜の小胞性グルタミン酸輸送体の研究を行い、神経科学分野の国際誌に掲載されるなど、優れた研究成果を発表し、高い評価を得た。
	佐 藤 勇 志	世界体操競技選手権大会で男子団体総合第3位となり、日本代表チームの一員として大きく貢献し、日本体操界の発展と本学の名誉を高めた。
	蔵 野 由 紀 子	青木繁記念大賞公募展において、石橋財団石橋美術館賞を受賞するなど、優れた作品を制作し、高い評価を得た。
	林 佐 和 子	あさご芸術の森大賞展において準大賞を受賞するなど、優れた作品を制作し、高い評価を得た。
	八 木 善 彦	視覚における選択的注意の二過程説を提案し、日本心理学会と日本基礎心理学会の学会誌等に掲載され、高い評価を得た。
	藤 生 健 太	今まで全く知られていなかった染色体分配システムの存在を提示し、高い評価を得た。
	桧 野 忠 宏	有機ケイ素化学における歴史的な発見をするなど、アメリカ化学会誌に掲載され、国際的に極めて高い評価を得た。
	石 川 英 介	超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウムにおいて、講演発表が超音波シンポジウム奨励賞を受賞するなど、高い評価を得た。
	小 野 朋 子	細胞内の個々のミトコンドリア間で遺伝子産物の交換が行われていることを初めて直接的に証明し、国際誌に掲載され、関連疾患の病態解明の研究等基礎研究と応用研究の両分野の進展に貢献するものとして高い評価を得た。
金 井 隆 太	デンプンやアミロースから環状の糖であるサイクロデキストリン (CD) を合成するサイクロデキストリン合成酵素と直鎖状のマルトヘキサオース (G6) を生成するG6-アミラーゼを結晶化し、X線立体構造を明らかにするなど、国際誌に発表し、高い評価を得た。	
金 居 正 幸	DNA損傷における修復機構に関与するとされているポリADP-リボース合成酵素-1 (PARP・1) が中心体にも存在することなどを発見し、外国の著名な学術雑誌に掲載されるなど、この分野への貢献が極めて大きいものとして高い評価を得た。	

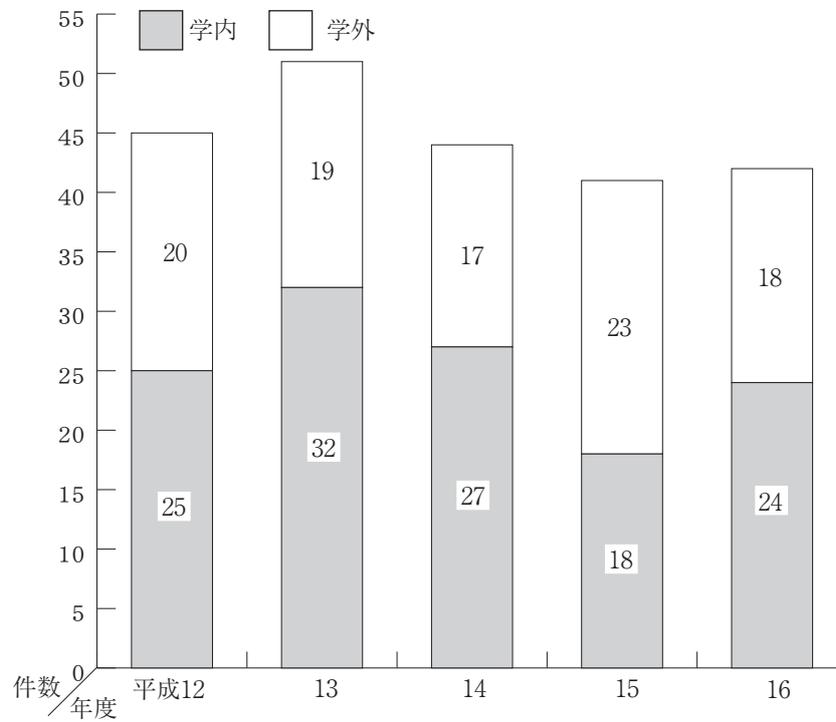
年 度	氏 名	該 当 事 項
平成16	榮 樂 英 樹	オペレーティングシステム (OS) を既存のOS上のユーザープログラムとして実行する新方式を開発し、国際会議で発表した論文が最優秀学生論文賞を受賞するなど、高い評価を得た。
	白 川 純	ヒト白血球接着分子DNAM-1のシグナル伝達機構の研究を行い、DNAM-1とリンパ球脂質膜分子との関連を世界に先駆けて明らかにし、研究成果が免疫学分野の国際誌に掲載され、高い評価を得た。
	安 藤 梢	オリンピックアテネ大会女子サッカー日本代表として第8位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	石 川 和 義	ユニバーシアード大会陸上三段跳びで第4位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	谷 口 尚 代	女子世界学生ハンドボール選手権大会日本代表として第4位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	千 葉 歩	女子世界学生ハンドボール選手権大会日本代表として第4位になるなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	長 瀬 めぐみ	ロシア国際柔道大会で優勝するなど優秀な成績を収め、本学の名誉を高めた。
	大 谷 徳 樹	修士論文「永久ゴマに関する物理実験」が物理教育学会誌に掲載され、高い評価を得た。
	伊 藤 忠 彦	情報処理学会コンピュータセキュリティシンポジウムにおいて発表した「通信相手の匿名性を管理できるペアリング型鍵共有方式」が学生論文賞を受賞し、高い評価を得た。
	山 下 祐 司	土壌や地下水中におけるコロイド粒子の動的挙動の研究を行い農業土木学会等で発表し、高い評価を得た。
	神 山 洋	難治性の悪性脳腫瘍の新しい治療法である血管新生抑制療法の研究を行い国際学会等で発表し、高い評価を得た。
	星 美 加	雪梁舎フィレンツェ賞展において優秀賞を受賞するなど、優れた作品を制作し、高い評価を得た。
	松 田 直 樹	在学中の論文「税源移譲のあり方と地方分権の潮流のヴィクトルとの関係」が、日税研究賞を受賞するなど、高い評価を得た。
	山 崎 雄 一 郎	修士論文「損害保険契約における『被保険利益』の再検討－保険代位・重複保険及び損益相殺に関連して－」が、弁護士実務から得た問題意識を結実させた論文として極めて優秀な作品であり、高い評価を得た。
	中 野 倫 靖	口ドラム認識に基づくドラムパターン検索について、日本音響学会で優秀発表として学会論文誌に掲載されるなど、高い評価を得た。
	高 梨 和 憲	高周期14族元素から成る多様な不飽和小員環化合物を合成し、その構造・性質を解明することで、高周期14族元素の化学から比較元素論的に重要な知見を与え、研究成果を国際誌に公表し、高い評価を得た。
小 泉 智 史	有機多座配位子と金属イオンとの自己集積化反応による単一分子磁石の合成法を確立し、研究成果が学会誌に掲載されるなど、無機化学の分野で高い評価を得た。	
山 東 悠 介	計算機ホログラムによる立体像表示の研究を行い、応用物理学会において講演奨励賞を授与されるなど、国際的にも高い評価を得た。	
佐 藤 構 二	世界最高エネルギー陽子反陽子衝突実験において対生成されるトップクォークの質量の測定を行い、研究成果を物理学会で発表し、高い評価を得た。	

年 度	氏 名	該 当 事 項
平成16	田 中 正 信	ケイ素置換シクロブタジエン、テトラヘドラン及びブタトリエンを合成し、その分子構造や反応性の解明ならびに理論的な考察を行うことによって、有機化学における重要な概念である芳香族性や高歪みについて明確に検証し、研究成果がアメリカ化学会誌等に掲載されるなど、有機化学における歴史的な発見として高い評価を得た。
	徳 田 規 夫	ナノ構造作製に関し、溶存酸素濃度が1ppb以下でコントロールされた超純水を処理液に用いることで再現性のあるナノ構造作製が可能であることを見出し、研究成果を学会等に発表し、高い評価を得た。
	中 野 孝 雄	博士論文「震災時における市街地内消防水利の実証的評価に関する研究」として優れた論文を作成し、高い評価を得た。
	小 阪 亮	サイバニック人工心臓のための体循環系生理パラメータ同定の研究に関して、国際学会発表においてPoster Presentation Award を2年連続して受賞するなど、高い評価を得た。
	岡 本 典 子	真核藻類を細胞内共生体としてもつ単細胞鞭毛虫を発見し、アジア・パシフィック藻類フォーラム、日本藻類学会合同国際会議のStudents Competitionでグランプリを獲得するなど、高い評価を得た。
	佐 藤 晃 嗣	マウスにおけるミトコンドリア間相補作用の存在を検証する実験系を構築し、実際に個体レベルで個々のミトコンドリア間で遺伝子産物の交換が行われていることを初めて直接的に証明し、研究成果をヨーロッパミトコンドリア会議等に発表し、高い評価を得た。
	立 石 幸 代	転写因子の一種であるエストロゲンレセプターの研究を行い、これまで報告されていなかったエストロゲンレセプターの分解機構について明確にし、研究成果を国際学会等で発表し、高い評価を得た。
	八 戸 真 弓	植物から放出され、他の植物の生育を阻害する作用を持つアレロケミカルのL-DOPAについて、植物体内挙動と作用機序を明らかにし、3 rd World Congress on Allelopathy においてポスター賞を受賞するなど、高い評価を得た。
	姜 文 一	生体防御に関わる遺伝子の発現を制御しているKeap1-Nrf2系による誘導機構を、分子レベルで解明することに成功し、研究成果が米国科学アカデミー紀要に掲載されるなど、高い評価を得た。
	飯 田 勝 之	生体防御に関わる転写因子Nrf2が膀胱発癌防御において果たす役割を固体レベルで解明することに成功し、研究成果が米国科学雑誌Cancer Researchに掲載されるなど、高い評価を得た。
軽 部 勝 一 郎	明治初期の近代学校成立過程の背景に潜む多様な規定要因について研究し、研究成果は教育史学会と地方教育史学会の学会誌に掲載されるなど、高い評価を得た。	
一之瀬 真 志	血圧や交感神経活動の調節に重要な働きを持つ動脈圧受容器反射の機能について、筋代謝受容器刺激時や心肺圧受容器減負荷時には動脈圧受容器反射の動的特性およびbeat-by-beatの交感神経活動調節が変化することを世界に先駆けて明らかにし、研究成果が国際学会誌に掲載されるなど、高い評価を得た。	

(2) 学生の懲戒



(3) 学生の交通事故



(4) 福利厚生施設

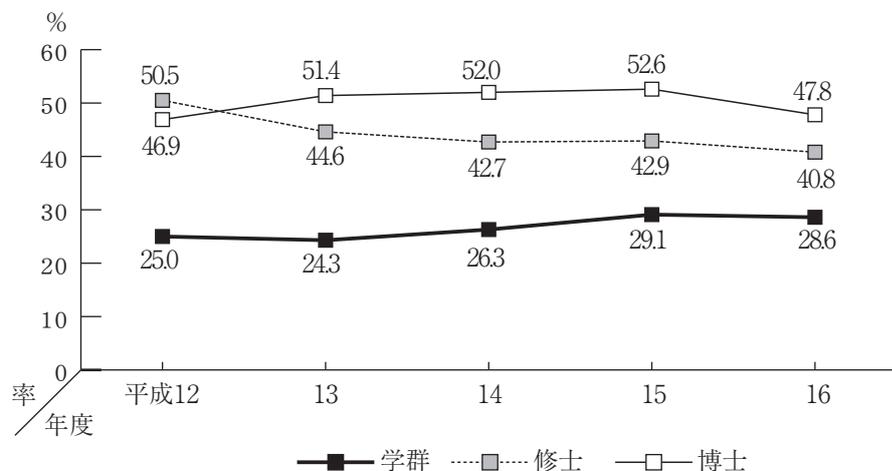
場 所	業 種	座席
第 一 学 群	食 堂	226
	小 食 堂	94
	喫 茶	82
	書 籍 ・ 文 具	
	パ ン 販 売	
	自 動 販 売 機	
第 二 学 群	食 堂	312
	小 食 堂	52
	喫 茶	80
	書 籍 ・ 文 具	
	パ ン 販 売	
	自 動 販 売 機	
第 三 学 群	食 堂	140
	そば ・ う どん	40
	カ レ ー	43
	中 華	44
	和 食	44
	喫 茶	84
	書 籍 ・ 文 具	
	パ ン 販 売	
	自 動 販 売 機	
医 学 専 門 学 群	食 堂	200
	特 別 食 堂	40
	喫 茶	36
	書 籍 ・ 文 具	
	パ ン 販 売	
	自 動 販 売 機	
体 育 ・ 芸 術 専 門 学 群	食 堂 (1 階)	176
	食 堂 (2 階)	138
	画 材 ・ 文 具	
	写 真 ・ ス ポ ー ツ 用 品	
	パ ン 販 売	
図 書 館 情 報 専 門 学 群	自 動 販 売 機	
	食 堂	204
	喫 茶	41
	書 籍 ・ 文 具	
医 療 技 術 短 期 大 学 部	自 動 販 売 機	
	パ ン 販 売	

場 所	業 種	座席	
大 学 会 館 (本 館)	レ ス ト ラ ン	200	
	グ リ ル	56	
	自 動 販 売 機		
大 学 会 館 (別 館)	食 堂	36	
	郵 便 局		
	郵便局キャッシュコーナー		
	書 籍 ・ 文 具		
	日 用 品 ・ 雑 貨		
	画 材 等		
	ト ラ ベ ル サ ー ビ ス		
本 部	銀行キャッシュコーナー		
	自 動 販 売 機		
	レ ス ト ラ ン	52	
	パ ン 販 売		
	自 動 販 売 機		
	平 砂 学 生 宿 舎	食 堂	272
		喫 茶	56
日 用 品 ・ 雑 貨			
電 化 製 品			
理 容			
ク リ ー ニ ン グ			
浴 場			
自 動 販 売 機			
追 越 学 生 宿 舎		食 堂	360
	日 用 品 ・ 雑 貨		
	コ ピ ー ・ グ ッ ズ		
	自 転 車		
	美 容		
	浴 場		
一 の 矢 学 生 宿 舎	自 動 販 売 機		
	食 堂	180	
	日 用 品 ・ 雑 貨		
	電 化 製 品		
	理 容		
	浴 場		
合 宿 所	シ ャ ワ ー 室		
	自 動 販 売 機		
	食 堂	120	
	自 動 販 売 機		

(5) 奨学生数

ア 日本学生支援機構奨学生

(ア) 奨学生比率の推移



(イ) 学 群

(平成17年 3月 1日現在)

学群・学類	学生数	奨学生数				比率 (%)		
		第一種	第二種 (きぼう21プラン)	併用	計			
第一学群	人 文 学 類	565	84	66	11	161	28.5	
	社 会 学 類	471	56	75	6	137	29.1	
	自 然 学 類	929	127	108	29	264	28.4	
	小 計	1,965	267	249	46	562	28.6	
第二学群	比 較 文 化 学 類	424	59	57	11	127	30.0	
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	202	26	38	7	71	35.1	
	人 間 学 類	543	80	68	10	158	29.1	
	生 物 学 類	338	40	43	4	87	25.7	
	生 物 資 源 学 類	559	81	53	8	142	25.4	
	小 計	2,066	286	259	40	585	28.3	
第三学群	社 会 工 学 類	564	75	76	7	158	28.0	
	国 際 総 合 学 類	420	55	60	7	122	29.0	
	情 報 学 類	385	59	46	7	112	29.1	
	工 学 シ ス テ ム 学 類	627	88	93	12	193	30.8	
	工 学 基 礎 学 類	545	65	76	7	148	27.2	
	小 計	2,541	342	351	40	733	28.8	
医 学 専 門 学 群	408	36	58	12	106	26.0		
専 門 学 群	医 学 類	195	23	19	4	46	23.6	
	看 護 ・ 医 療 科 学 類	看 護 学	137	26	18	3	47	34.3
		医 療 科 学	77	10	9	4	23	29.9
	小 計	409	59	46	11	116	28.4	
体 育 専 門 学 群	1,054	113	197	4	314	29.8		
芸 術 専 門 学 群	512	61	69	7	137	26.8		
図 書 館 情 報 専 門 学 群	705	93	105	16	214	30.4		
合 計	9,660	1,257	1,334	176	2,767	28.6		

(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。
 2. 平成16年度の貸与月額、次のとおりである。
 第一種 (自宅外通学) 1・2年 50,000円 3・4年 48,000円 5・6年 47,000円
 第一種 (自宅通学) 1・2年 44,000円 3・4年 42,000円 5・6年 41,000円
 第二種 (きぼう21プラン) 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円からの選択制。

(ウ) 大 学 院

(平成17年 3 月 1 日現在)

課程・研究科		学生数	一 種	きぼう21	併 用	奨学生数	比率 (%)
修士課程 (修士・博士前期)	地 域 研 究 研 究 科	101	34	6	4	44	43.6
	教 育 研 究 科	344	97	13	12	122	35.5
	経 営 ・ 政 策 科 学 研 究 科	94	27	5	5	37	39.4
	理 工 学 研 究 科	281	100	40	3	143	50.9
	環 境 科 学 研 究 科	215	96	15	1	112	52.1
	バ イ オ シ ス テ ム 研 究 科	111	51	2	4	57	51.4
	医 科 学 研 究 科	95	36	17	1	54	56.8
	体 育 研 究 科	336	109	14	11	134	39.9
	芸 術 研 究 科	120	48	8	1	57	47.5
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科	171	1	1	0	2	1.2
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	214	72	24	3	99	46.3
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 研 究 科	88	18	5	1	24	27.3
	小 計	2,170	689	150	46	885	40.8
博 士 課 程 (一貫制・博士後期・医学)	人 文 社 会 科 学 研 究 科	224	108	29	5	142	63.4
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科	110	0	0	1	1	0.9
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	282	124	31	1	156	55.3
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	395	152	45	3	200	50.6
	生 命 環 境 科 学 研 究 科	499	203	49	3	255	51.1
	人 間 総 合 科 学 研 究 科	582	247	32	3	282	48.5
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 研 究 科	72	15	1	0	16	22.2
	哲 学 ・ 思 想 研 究 科	13	4	0	0	4	30.8
	歴 史 ・ 人 類 学 研 究 科	24	14	0	1	15	62.5
	文 芸 ・ 言 語 研 究 科	39	12	0	0	12	30.8
	教 育 学 研 究 科	23	8	1	0	9	39.1
	心 理 学 研 究 科	22	10	0	0	10	45.5
	心 身 障 害 学 研 究 科	6	2	0	0	2	33.3
	社 会 科 学 研 究 科	10	3	0	0	3	30.0
	国 際 政 治 経 済 学 研 究 科	9	3	0	0	3	33.3
	体 育 科 学 研 究 科	37	15	1	1	17	45.9
	芸 術 学 研 究 科	17	3	0	0	3	17.6
小 計	2,364	923	189	18	1,130	47.8	
合 計	4,534	1,612	339	64	2,015	44.4	

(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 平成16年度の貸与月額額は、次のとおりである。

第一種(修士課程・博士前期課程) 1・2年 87,000円

第一種(一貫制博士課程) 1・2年 87,000円 3・4年 121,000円 5年 119,000円

第一種(博士後期課程・博士医学課程) 1・2年 121,000円 3・4年 119,000円

第二種(きぼう21プラン) 50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円からの選択制

イ 地方公共団体・民間育英団体奨学生

(平成17年3月1日現在)

奨学団体	学 群						大 学 院						合 計	
	給 与		貸 与		小 計		給 与		貸 与		小 計			
	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数
地方公共団体	0	0	25	57	25	57	0	0	1	1	1	1	26	58
民間育英団体	18	33	5	9	23	42	9	14	1	4	10	18	33	60
合 計	18	33	30	66	48	99	9	14	2	5	11	19	59	118

(6) アルバイト

職 種	求人件数
家庭教師	137
塾 講 師	193
語学教師	19
その他(一般)	962
合 計	1,311

(7) 学生団体数及び加入者数

系	課外活動団体		課外活動団体以外		計	
	団体数	加入者数	団体数	加入者数	団体数	加入者数
文化系	35	970 (420)	37	596 (325)	72	1,566 (745)
体育系	57	2,156 (640)	58	2,210 (874)	115	4,366 (1,514)
芸術系	27	1,150 (557)	17	389 (195)	44	1,539 (752)
合 計	119	4,276 (1,617)	112	3,195 (1,394)	231	7,471 (3,011)

(注) 1. 課外活動団体とは、学生団体の中から援助・育成に値するものとして学長が認定したものをいう。
 2. () は、女子を内数で示す。

(8) 課外活動団体の成績

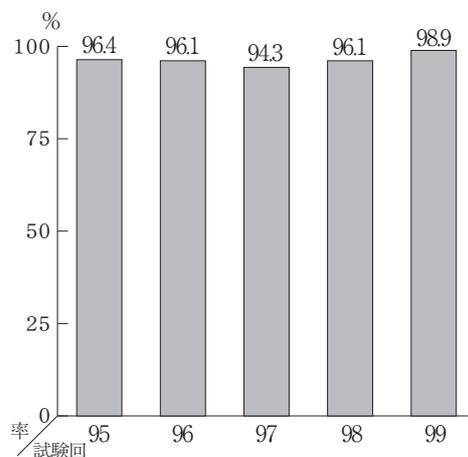
		団体・個人名等	競技会等名称	成績
体 育 系	団 体 の 部	男子バレーボール部	2004東西インカレバレーボール男子王座決定戦inつくば	優 勝
		男子ハンドボール部	全日本学生ハンドボール選手権大会	優 勝
		女子ハンドボール部	全日本学生ハンドボール選手権大会	優 勝
		女子バスケットボール部	全日本学生バスケットボール選手権大会	優 勝
		ダンス部	全日本高校・大学ダンスフェスティバル (神戸)	文部科学大臣賞
		カヌークラブ	全日本学生カヌー選手権大会	女子総合優勝
	個 人 の 部	4年 神野 剛行	日本学生選手権水泳大会 男子100mバタフライ	優 勝
		4年 竹井 康彦	日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子800m	優 勝
		2年 成迫 健児	日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子400mハードル	優 勝
		4年 桑城 奈苗	日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子1500m	優 勝
		4年 藤沢 潔香	日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子走高跳	優 勝
		修1 中野 美沙	日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子槍投げ	優 勝
		4年 石川 和義	第1回田島直人記念大会 男子三段跳	優 勝
		博2 森 大輔	全日本ラート競技選手権大会 男子総合	優 勝
			個人直転	優 勝
			個人斜転	優 勝
		修2 深瀬友香子	全日本ラート競技選手権大会 女子個人総合	優 勝
			個人斜転	優 勝
		修2 檜皮 貴子	全日本ラート競技選手権大会 女子個人直転	優 勝
			女子個人跳び越し	優 勝
		4年 山本 一貴	全日本ライフセービング室内選手権大会 SERC	優 勝
		3年 亀山 信洋	全日本ライフセービング室内選手権大会 SERC	優 勝
			全日本学生ライフセービング選手権大会 男子CPRコンテスト	優 勝
		3年 根岸 賢輔	全日本ライフセービング室内選手権大会 SERC	優 勝
		3年 墨岡 治	全日本ライフセービング室内選手権大会 SERC	優 勝
		3年 塚本 忠嗣	全日本学生ライフセービング選手権大会 男子CPRコンテスト	優 勝
		4年 坂本 貴史	日本学生オリエンテーリング ICロングディスタンス競技	優 勝
		3年 増谷 鈴子	全日本学生カヌー選手権大会 女子K-1 500m	優 勝
			女子K-4 500m	優 勝
		3年 増谷 鈴子	全日本学生カヌー選手権大会女子K-1 4×500mリレー	優 勝
2年 岡野 未央				
3年 佐藤由美子				
4年 佐藤 絵美				
2年 岡野 未央	全日本学生カヌー選手権大会 女子K-4 500m	優 勝		
3年 佐藤由美子	全日本学生カヌー選手権大会 女子K-4 500m	優 勝		
4年 佐藤 絵美	全日本学生カヌー選手権大会 女子K-4 500m	優 勝		
芸 術 系	団 体 (THK)	第21回 NHK全国大学放送コンテスト 朗読部門	優 勝	
		ニュース部門	優 勝	
		映像CM部門	優 勝	

(9) 就 職 等

ア 国家試験等

(ア) 医師国家試験

① 合格率の推移



② 第99回医師国家試験

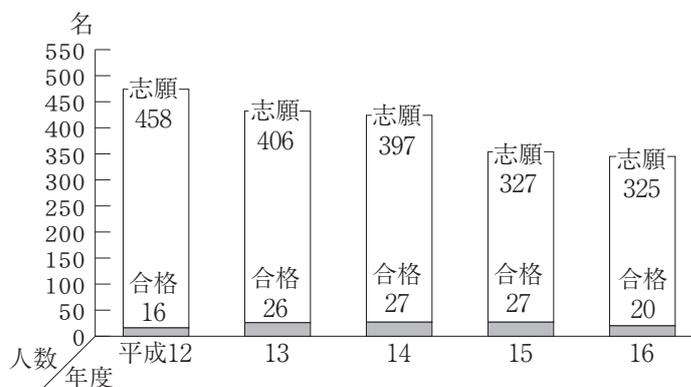
試験日	平成17年2月19～21日
受験者数	94
合格者数	93
合格率 (%)	98.9

(イ) 司法試験

年 度	短答式筆記試験合格者	最終合格者	合格率 (%)
平成15年度	20	4	20.0
平成16年度	26	4	15.4

(ウ) 国家公務員採用 I 種試験

① 合格状況の推移

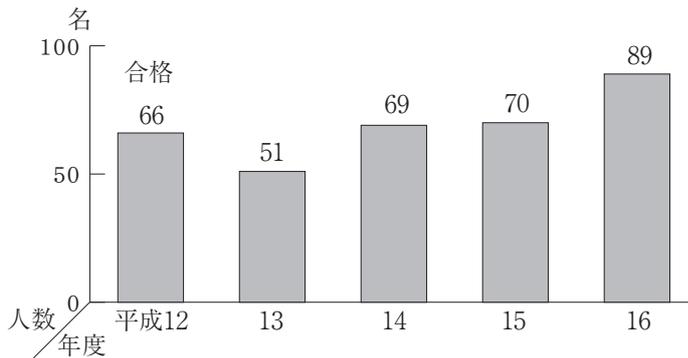


② 国家公務員採用 I 種試験結果

年 度	志願者数	一 次合格者数	二 次合格者数	合格率 (%)	合 格 試 験 区 分
平成15年度	327	51	27	8.3	行政「0」、法律「6」、経済「2」、人間科学 I「1」、人間科学 II「1」、理工 I「4」、理工 II「0」、理工 III「1」、理工 IV「5」、農学 I「3」、農学 II「3」、農学 III「1」、農学 IV「0」
平成16年度	325	38	20	6.2	行政「0」、法律「4」、経済「1」、人間科学 I「1」、人間科学 II「1」、理工 I「2」、理工 II「0」、理工 III「1」、理工 IV「3」、農学 I「3」、農学 II「1」、農学 III「3」、農学 IV「0」

(エ) 地方公務員採用上級試験

① 合格状況の推移

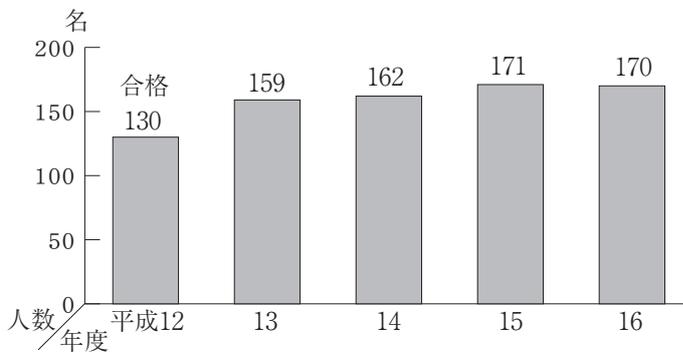


② 地方公務員採用上級試験結果

年 度	合格者数	合 格 都 道 府 県 等
平成15年度	70	岩手[1], 宮城[4], 秋田[1], 茨城[13], 栃木[4], 群馬[2], 埼玉[4], 新潟[1], 富山[4], 山梨[2], 静岡[3], 愛知[1], 大阪[1], 和歌山[2], 鳥根[1], 山口[3], 徳島[2], 長崎[1], 熊本[1], 大分[2], 宮崎[2], 鹿児島[1], 指定都市[14]
平成16年度	89	北海道[2], 青森[2], 秋田[1], 岩手[1], 宮城[2], 福島[1], 東京[12], 千葉[2], 茨城[17], 栃木[4], 群馬[2], 埼玉[2], 神奈川[5], 新潟[4], 福井[1], 富山[1], 岐阜[1], 静岡[2], 山梨[3], 愛知[1], 三重[3], 大阪[2], 徳島[1], 鳥取[2], 岡山[1], 広島[1], 山口[1], 愛媛[2], 福岡[1], 佐賀[1], 長崎[1], 大分[1], 宮崎[1], 指定都市[5]

(オ) 公立学校教員採用試験

① 合格状況の推移



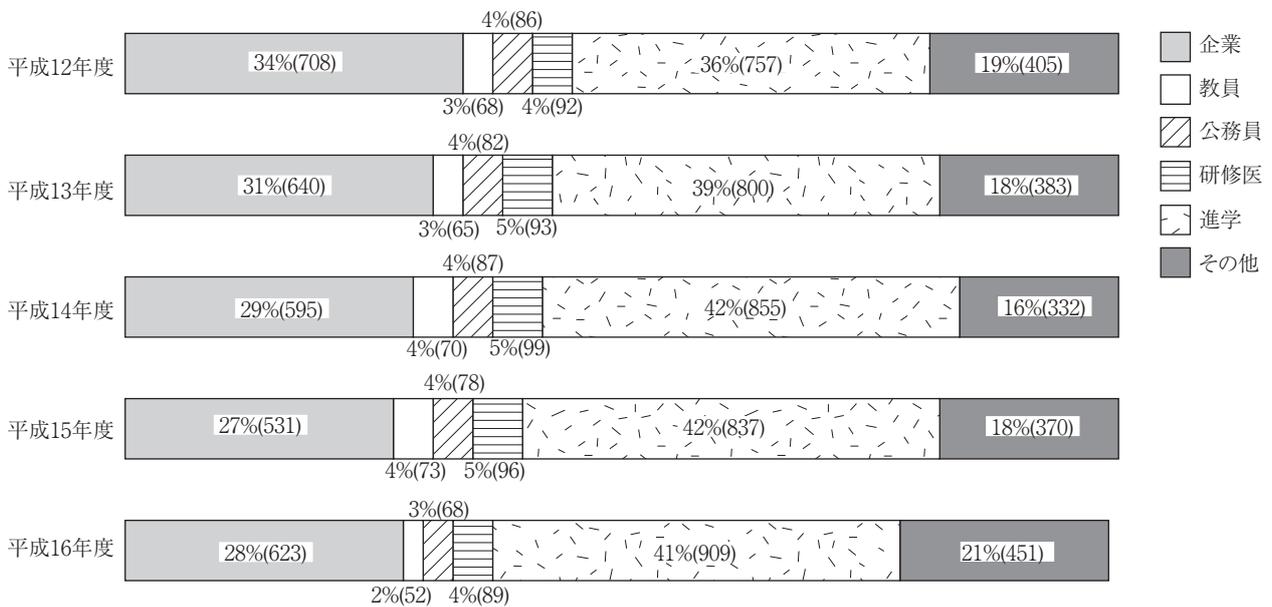
② 公立学校教員採用試験結果

年 度	合格者数	合 格 都 道 府 県 等
平成15年度	171	青森[1], 岩手[2], 宮城[1], 茨城[24], 栃木[11], 群馬[7], 埼玉[11], 千葉[12], 東京都[31], 新潟[9], 富山[4], 石川[2], 福井[1], 山梨[3], 長野[2], 静岡[3], 愛知[8], 岐阜[2], 大阪[6], 兵庫[4], 鳥取[4], 岡山[4], 徳島[2], 福岡[2], 佐賀[1], 長崎[1], 熊本[1], 大分[1], 宮崎[4], 鹿児島[1], 沖縄[1], 指定都市[5]
平成16年度	171	北海道[1], 青森[5], 岩手[2], 山形[2], 宮城[4], 東京[8], 茨城[34], 栃木[7], 群馬[8], 埼玉[3], 千葉[21], 新潟[3], 富山[2], 石川[1], 福井[2], 山梨[3], 長野[2], 岐阜[4], 静岡[5], 三重[1], 香川[2], 愛知[8], 京都[2], 大阪[4], 兵庫[2], 奈良[3], 和歌山[1], 鳥取[4], 岡山[2], 広島[1], 山口[1], 福岡[1], 佐賀[1], 長崎[3], 熊本[1], 大分[1], 宮崎[1], 鹿児島[3], 指定都市[11]

イ 就 職

(ア) 学 群

① 進路（就職）の推移



② 平成16年度卒業者の進路

(平成17年5月1日現在)

学群・学類	卒業者	就職者	就職者の内訳			研修医	進学者	その他		
			企業	教員	公務員			職務復帰・帰国	研究生等・留学	資格・採用試験等準備他
第一学群	人文学類	137 (65)	65 (37)	55 (32)	5 (4)	5 (1)	29 (9)		4 (2)	39 (17)
	社会学類	115 (52)	53 (20)	47 (17)		6 (3)	20 (10)	2	2 (2)	38 (20)
	自然科学類	210 (50)	31 (5)	25 (4)	5	1 (1)	164 (44)			15 (1)
第二学群	比較文化学類	93 (64)	51 (33)	48 (30)	1 (1)	2 (2)	15 (9)		1	26 (22)
	日本語・日本文化学類	36 (32)	19 (17)	15 (13)	2 (2)	2 (2)	11 (11)			6 (4)
	人間学類	127 (71)	43 (26)	35 (22)	5 (2)	3 (2)	44 (20)	1 (1)	1 (1)	38 (23)
	生物学類	81 (43)	8 (4)	8 (4)			70 (38)			3 (1)
第三学群	生物資源学類	145 (74)	28 (16)	20 (12)	1 (1)	7 (3)	92 (47)		1 (1)	24 (10)
	社会工学類	141 (27)	71 (10)	65 (10)	1	5	51 (11)	2 (1)		17 (5)
	国際総合学類	97 (61)	60 (36)	54 (32)		6 (4)	20 (13)	1 (1)	1 (1)	15 (10)
	情報学類	85 (20)	15 (6)	14 (6)		1	62 (11)			8 (3)
工学系	工学システム学類	152 (12)	28 (6)	27 (6)		1	116 (4)			8 (2)
	工学基礎学類	129 (20)	22 (3)	20 (3)		2	101 (16)			6 (1)
医学専門学群	90 (27)	0 (0)				89 (27)				1
体育専門学群	249 (78)	130 (41)	92 (31)	28 (7)	10 (3)		55 (15)		9 (4)	55 (18)
芸術専門学群	126 (94)	20 (16)	17 (14)	2 (2)	1		36 (21)	1 (1)		69 (56)
図書館情報専門学群	178 (117)	99 (67)	81 (54)	2 (1)	16 (12)		23 (10)		1 (1)	55 (39)
学群合計	2,191 (907)	743 (343)	623 (290)	52 (20)	68 (33)	89 (27)	909 (289)	7 (4)	20 (12)	423 (232)
									450 (248)	

() 内は女子を内数で示す。

③ 産業分類別就職状況

(平成17年5月1日現在)

学群・学類	企 業 (自 営 業 を 含 む)														公 務 員				平成15年度最終(同期)		
	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	国家公務員	地方公務員	小計		合計	
第一学群	人文学類					1 (1)	10 (5)		8 (4)	9 (4)	9 (5)	2 (1)	16 (12)		55 (32)	5 (4)	2 (1)	3	5 (1)	65 (37)	48 (24)
	社会学類					2 (2)	11 (4)	2 (1)	2 (1)	4 (3)	15 (1)		11 (5)		47 (17)		4 (2)	2 (1)	6 (3)	53 (20)	61 (25)
	自然科学類					2	6 (1)		2	2 (1)	4 (1)		9 (1)		25 (4)	5		1 (1)	1 (1)	31 (5)	43 (15)
第二学群	比較文化学類						14 (8)	1 (1)	3 (2)	7 (5)	1 (1)		22 (13)		48 (30)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	51 (33)	45 (35)
	日本語・日本文化学類						7 (6)		1 (1)	1 (1)			5 (4)	1 (1)	15 (13)	2 (2)		2 (2)	2 (2)	19 (17)	30 (25)
	人間学類					2	6 (4)		1 (1)	5 (4)	2 (1)		19 (12)		35 (22)	5 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	43 (26)	56 (34)
	生物学類						3 (2)		1		1 (1)		3 (1)		8 (4)					8 (4)	5 (5)
	生物資源学類	1 (1)					4 (2)			5 (3)	1 (1)		9 (5)		20 (12)	1 (1)	3	4 (3)	7 (3)	28 (16)	48 (31)
第三学群	社会工学類	1				3	15 (2)		6 (2)	2	13 (2)	3	22 (4)		65 (10)	1		5	5	71 (10)	66 (14)
	情報学類						6 (4)		1	1		1	5 (2)		14 (6)		1		1	15 (6)	13 (1)
	工学システム学類					6 (2)	7 (3)		1	1		2	10 (1)		27 (6)			1	1	28 (6)	25 (3)
	国際総合学類						17 (14)		6 (2)	8 (3)	4 (1)		19 (12)		54 (32)		6 (4)		6 (4)	60 (36)	66 (41)
	工学基礎学類						13 (3)				3		4		20 (3)			2	2	22 (3)	23 (2)
医学専門学群																					
体育専門学群					1 (1)	25 (10)	1	6 (1)	13 (3)	8 (3)	1	37 (13)		92 (31)	28 (7)	1 (1)	9 (2)	10 (3)	130 (41)	117 (39)	
芸術専門学群					4 (3)	2 (2)			3 (2)		1 (1)	7 (6)		17 (14)	2 (2)		1	1	20 (16)	36 (24)	
図書館情報専門学群					2 (1)	9 (6)	1 (1)	4 (3)	13 (8)	3 (3)	1	48 (32)		81 (54)	2 (1)	5 (4)	11 (8)	16 (12)	99 (67)		
学群合計	2 (1)				23 (10)	155 (76)	5 (3)	42 (17)	74 (37)	64 (20)	11 (2)	246 (123)	1 (1)	623 (290)	52 (20)	25 (14)	43 (19)	68 (33)	743 (343)	682 (318)	

平成15年度最終(同期)	3 (3)	1 (1)	2 (1)		13 (3)	165 (77)	3	37 (10)	56 (30)	33 (11)	10 (4)	208 (110)		531 (250)	73 (29)	32 (14)	46 (25)	78 (39)	682 (318)
--------------	----------	----------	----------	--	-----------	-------------	---	------------	------------	------------	-----------	--------------	--	--------------	------------	------------	------------	------------	--------------

() 内は女子を内数で示す。

(イ) 大学院

① 平成16年度修了者の進路状況

(平成17年5月1日現在)

研究科	修了者	就職者	就職者の内訳			研究員	研修医	進学者	その他		
			企業	教員	公務員				職務復帰・帰国	研究生等・留学	資格・採用試験等準備他
修士課程	地域研究	70 (36)	17 (7)	15 (7)	2			13 (7)	23 (11)	5 (3)	12 (8)
	教育	158 (84)	86 (45)	3 (2)	73 (37)	10 (6)	1 (1)	9 (3)	48 (26)	3 (3)	11 (6)
	経営・政策科学	61 (14)	24 (5)	24 (5)				3	12 (4)	1	21 (5)
	理工学	200 (21)	168 (18)	159 (18)	2	7		19 (1)	1 (1)		12 (1)
	環境科学	113 (47)	69 (24)	61 (22)	1 (1)	7 (1)		10 (4)	6 (3)	5 (2)	23 (14)
	バイオシステム	64 (24)	38 (15)	33 (11)		5 (4)	1 (1)	17 (2)	1 (1)		7 (5)
	医学	44 (24)	19 (12)	16 (10)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	20 (8)	1 (1)		2 (2)
	体育	154 (43)	38 (11)	14 (4)	21 (7)	3	1 (1)	15 (4)	17 (4)	4 (2)	79 (21)
	芸術	51 (26)	15 (7)	8 (1)	7 (6)			3 (1)	7 (5)		26 (13)
	ビジネス科学(博前)	76 (12)							72 (10)		4 (2)
図書館情報メディア(博前)	49 (30)	20 (10)	16 (7)		4 (3)		14 (8)	8 (6)		7 (6)	
修士合計	1,040(361)	494 (154)	349 (87)	107 (52)	38 (15)	5 (4)		123 (38)	196 (72)	18 (10)	204 (83)
									418 (165)		
博士課程	哲学・思想	1					1				
	歴史・人類学	9 (1)	2		1	1	5 (1)		1		1
	文芸・言語	18 (9)	11 (5)	1 (1)	8 (3)	2 (1)	4 (2)		2 (1)	1 (1)	
	教育学	8 (2)	4 (1)		4 (1)		3 (1)			1	
	心理学	10 (4)	5 (2)		3 (1)	2 (1)	5 (2)				
	心身障害学	5 (4)	3 (3)		2 (2)	1 (1)	2 (1)				
	社会科学	5	3	1	1	1	2				
	国際政治経済学	5 (2)	3 (1)	2 (1)	1		1		1 (1)		
	体育科学	20 (3)	8 (2)		4 (1)	4 (1)	2		3 (1)		7
	芸術学	14 (5)	4 (1)		3	1 (1)			4 (1)	1	5 (3)
	人文社会科学										
	ビジネス科学(博後)	6 (1)							6 (1)		
	数理物質科学	103 (12)	79 (8)	73 (8)	4	2	19 (3)		1	1	3 (1)
システム情報工学	144 (6)	119 (3)	107 (3)	7	5	7 (1)		14 (2)		4	
生命環境科学	104 (32)	47 (12)	26 (6)	8 (3)	13 (3)	32 (8)		13 (6)	2	10 (6)	
人間総合科学	76 (25)	30 (9)	10 (2)	10 (5)	10 (2)	15 (6)		13 (5)	1 (1)	17 (4)	
図書館情報メディア(博後)	9 (4)	4 (2)		1	3 (2)			4 (1)		1 (1)	
博士合計	537(110)	322 (49)	220 (21)	57 (16)	45 (12)	98 (25)			62 (19)	7 (2)	48 (15)
									117 (36)		
大学院合計	1,577(471)	816 (203)	569 (108)	164 (68)	83 (27)	103 (29)		123 (38)	258 (91)	25 (12)	252 (98)
									535 (201)		

() 内は女子を内数で示す

② 産業分類別就職状況

(平成17年5月1日現在)

研究科	企業（自営業を含む）													公務員				合計	平成15年度最終(同期)		
	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	国家公務員	地方公務員			小計	
修士課程	地域研究					2		1	3		1(1)	8(6)		15(7)	2				17(7)	16(12)	
	教育											3(2)		3(2)	73(37)	4(2)	6(4)	10(6)	86(45)	65(29)	
	経営・政策科学					12(4)		3(1)	2			7		24(5)					24(5)	33(8)	
	理工学				4(1)	107(8)		6(1)	1	1		40(8)		159(18)	2	6	1	7	168(18)	172(15)	
	環境科学			1	4(1)	10(3)	2	2(1)	2(1)	1	4(1)	35(15)		61(22)	1(1)	3(1)	4	7(1)	69(24)	67(26)	
	バイオシステム					26(8)			1	1		5(3)		33(11)		5(4)		5(4)	38(15)	58(28)	
	医学					14(10)						2		16(10)	1(1)	2(1)		2(1)	19(12)	19(14)	
	体育					1(1)		1				11(3)	1	14(4)	21(7)	1	2	3	38(11)	57(17)	
	芸術				1	1(1)						2	4	8(1)	7(6)				15(7)	22(8)	
	ビジネス科学(前期)																				
	数理解物質科学(前期)																				
	システム情報工学(前期)																				
	生命環境科学																				
図書館情報メディア(前期)					5(1)	1		1(1)		1(1)	8(4)		16(7)		1(1)	3(2)	4(3)	20(10)			
修士合計				1	9(2)	178(36)	3	13(3)	8(2)	5	8(3)	123(41)	1	349(87)	107(52)	22(9)	16(6)	38(15)	494(154)	509(157)	
平成15年度最終(同期)	2(1)				6(3)	204(45)	8	16(1)	15(7)	7	5(2)	126(44)	4	393(103)	91(40)	8(3)	17(11)	25(14)	509(157)		
博士課程	哲学・思想																			1(1)	
	歴史・人類学														1	1		1	2	5	
	文芸・言語					1(1)								1(1)	8(3)	2(1)		2(1)	11(5)	16(10)	
	教育学														4(1)				4(1)	5(3)	
	心理学														3(1)	2(1)		2(1)	5(2)	2(1)	
	心身障害学														2(2)	1(1)		1(1)	3(3)	2(1)	
	社会科学									1				1	1	1		1	3	6(2)	
	国際政治経済学								1(1)	1				2(1)	1				3(1)	5(1)	
	体育科学														4(1)	4(1)		4(1)	8(2)	11(1)	
	芸術学														3	1(1)		1(1)	4(1)	1(1)	
	人文社会科学																			4(2)	
	ビジネス科学(後期)																				
	数理解物質科学					1	54(4)			1	1		16(4)	73(8)	4	1	1	2	79(8)	9(1)	
システム情報工学					1	58	1	6		1		40(3)	107(3)	7	4	1	5	119(3)	76(10)		
生命環境科学	1					14(2)			1(1)			10(3)	26(6)	8(3)	7(2)	6(1)	13(3)	47(12)	61(26)		
人間総合科学					1	3						6(2)	10(2)	10(5)	6(2)	4	10(2)	30(9)	1		
図書館情報メディア(後期)														1	2(1)	1(1)	3(2)	4(2)			
博士合計	1				3	130(7)	1	6	3(2)	4		72(12)	220(21)	57(16)	32(10)	13(2)	45(12)	322(49)	205(60)		
平成15年度最終(同期)					3	58(17)	1	7	3(1)	4		44(11)	4(1)	124(30)	43(19)	25(5)	13(6)	38(17)	205(60)		

()内は女子を内数で示す。